

# 農業学園だより

令和6年6月

Vol.1

県北農林事務所 経営・普及部門

(常陸太田地域農業改良普及センター)



6月26日(水)に、(株)榎村ふぁーむ ほ場において「令和6年度県北地域農業学園開講式および第1回講座」を開催しました。常陸太田管内から、農業学園受講生7名が参加しました。

第1回講座は、日立市で循環型農業による野菜や水稻の栽培・販売に取り組む、(株)榎村ふぁーむに伺い、二代目である榎村智生氏から講話をいただきました。これまでの歩みや掲げている理念、今後の展望などのお話から、50年近く農業を続けてきたこの土地で、環境に優しく、安心安全で美味しいものを作っていきたいという強い思いが感じ取れました。



また、ほ場や堆肥場等の見学を交えながら、循環型農業における雑草防除の工夫や堆肥の活用など、具体的な取組についても講話をいただきました。

受講生からは、「作付け計画や堆肥資材の説明が分かりやすかった」等の技術面で参考になったという意見に加え、「経営の心構えが勉強になった」、「企業理念に共感できた」等の声もあり、考え方の面でも先輩農業者から多くのことを学べた様子でした。講師と受講生との意見交換も活発に行われ、充実した講座となりました。



## お知らせ

次回は7月に、常陸太田市の小川剛 農業経営士を講師とし、水稻講座としてドローンによる薬剤散布の実演や、活用方法等の講話をいただきます。皆様の参加をお待ちしています！

農業学園では、今後も普及指導員による定期個別巡回を行っていきます。  
その他普段の農業についての疑問や相談など、いつでもご連絡ください！  
常陸太田地域農業改良普及センター（担当：大森、北原）

TEL：0294-80-3341  
FAX：0294-80-3348



# 第1回講座（先進農業者による講話）のまとめ

## ◆(株)榎村ふぁーむについて

- ①所在地 日立市十王町伊師
- ①栽培面積 畑 約6 ha  
                  水稻 約2 ha
- ②労働力 役員4名、パート18名
- ③出荷先 地元スーパー、飲食店、個人宅配等



## ◆講話の概要

- ・野菜は年間100種類以上を作っている。同じ品目でもこまめに種まきをするなどして、良い状態のものを長く供給できるような工夫をしている。
- ・間もなく創業50周年を迎える榎村ふぁーむでは、当初から「**栽培期間中に農薬や化学肥料を使わない**」という方針を貫いている。有機JASについては、取得するメリットやそれによる制約を考慮した上で、取得しないという選択をしている。
- ・農産物の出荷に際して、袋詰めなどを自分で行うほか、SNS発信や営業などもすべて自分でこなすなど、やることは多いが、楽しんで行っている。
- ・大切にしている理念は**①面白いと思ったら考えすぎずやってみる**、**②安全安心は当然のこととして、「おいしい」を届ける**、**③消費者と本当の意味で顔の見える関係を築く**、の3つである。
- ・病虫害や雑草の防除で大切にしていることは、雑草が小さいうちにこまめに土を動かして生育を抑えることなどにより、畑を良い条件に保って**病気の出ない環境を作る**ことである。また、品種は耐病性品種をなるべく使用している。
- ・堆肥の材料として地域の事業者等からコーヒーかす、しいたけ廃菌床、麦芽かす、落ち葉などをもらっている。堆肥を活用して環境に配慮した農業を行うことに加え、**自分たちの近くにある資源を上手く活用したい**という思いも込められている。
- ・今後は、Re:Agri（東北地域の無農薬・減農薬栽培に取り組む農家で結成された団体）のように、周りの農家さんとなつながつて協力するなどして、小さく尖った経営をしていきたいと考えている。



学園生募集！

【対象者】就農して間もない農業者、就農希望者

【受講料】無料

ご興味がある方は、お気軽にお問合せください。